

「第6次太子町総合計画後期基本計画（案）」に係るパブリックコメントに基づく

提出意見及び意見に対する町の考え方

「第6次太子町総合計画後期基本計画（案）」に対するパブリックコメント（意見提出手続）を実施し、ご意見の概要とそれに対する太子町の考え方をとりまとめましたので公表いたします。

いただいたご意見を踏まえ、今後、計画策定をさらに進めてまいります。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 1 意見募集期間 令和6年10月30日（水曜日）から令和6年11月28日（木曜日）
- 2 閲覧場所 町ホームページ、企画政策課、各地区公民館
- 3 意見提出者数 2名
- 4 提出意見数 14件
- 5 意見及び考え方 別添のとおり

NO	区分	提出意見	提出意見に対する町の考え方
1	基本構想	<p>P15の「関連分野別の計画」の一覧ですが、前期の計画に追加したり、削除したり、精査されているものと思いますが、現在適用されている諸計画のすべてにしては、(感覚的ですが、)少なすぎませんか。</p> <p>正確を期して、「主な関連分野別の計画」と表記しては、いかがでしょうか。</p>	<p>「関連する分野別計画」には、特定分野におけるめざすべき方向性や施策を明らかにする計画である分野別計画を記載しています。</p> <p>ご指摘のとおり、年次計画など一覧に記載していない計画がありますので、「関連する分野別計画」を「主な関連分野別計画」に変更します。</p>
2	基本計画	<p>前期計画の達成度(率)はどうであったのか、(途中段階でも)検証結果は総括されたのですか。その結果をもって、どのように後期計画(案)に反映させたのか個々具体的に教えてください。</p> <p>基礎資料として当該検証結果がないと議論できないのではないかと。業績評価指標の見直しはされたのでしょうか。</p>	<p>第6次太子町総合計画では、基本構想の基本目標である「和のまち太子」の実現に向けて、計画の進捗状況を定量的に把握するため、重要業績評価指標(KPI)を設けています。</p> <p>後期基本計画の策定にあたりましては、前期基本計画で設定している重要業績評価指標(KPI)について、全体としての達成度は3割強となっており、目標を達成したもの、達成できなかったものがありますが、事業ごとに取組内容の現状、進捗状況や課題を検証し、今後の方向性を定めた上で、後期の5年に向けた重要業績評価指標(KPI)の目標値を設定しています。</p>
3	基本計画	<p>「5(10)年後のまちの姿」の記述は必要でしょうか。おそらく、総合戦略を実施して「現状と課題」の解決が図られれば、このような夢の社会になるとの描写は、住民に対し説得力が増し、理解されやすいとの考えから設けられた項目でしょうが、返って廻りくどくわかりにくい(意味のない)し、公の策定した計画における根拠のない予想・希望といった記述は、住民へのミスリードになるので、削除した方が良いのではないかと。</p>	<p>総合計画の基本計画につきましては、基本構想に掲げているまちづくりの基本目標を実現するための基本施策を定めたものとなっており、中施策ごとに「現状と課題」、「基本的な方針」、「5年後のまちの姿」、「目標実現のための施策」、「施策に関する指標」で構成しています。「5年後のまちの姿」につきましては、前期基本計画策定時において住民アンケートやワークショップでの意見などを参考としていた経緯があり、住民、企業、各種団体や町が同じまちの姿をめざし、共に協力しながらまちづくりを進めていくために示しています。</p>
4	基本計画	<p>後期計画(案)のうち、①P22の施策に関する指標の「事業承継関連セミナー年間開催数」を「企業市民制度の認定事業者数」に変更した理由、②P32の「家族と学校での出来事の話をする児童生徒」を「学校図書館貸出冊数」に変更した理由、③P48の「介護予防教室参加者数」を「介護予防に資する住民主体の「通</p>	<p>重要業績評価指標(KPI)を変更した理由は下記のとおりです。次の5年後の姿を見据えて、計画がより良いものとなるよう指標を設定しました。</p> <p>①「事業承継関連セミナー年間開催数」につきましては、企業のニーズによりセミナー形式から個別相談形式に移行することとしてい</p>

		<p>いの場」への参加者」に変更した理由、④P48の「いきいき百歳体操登録人数」を「いきいき百歳体操実施個所数」に変更した理由、及び⑤P55の「基幹配水管耐震化率」を「基幹管路耐震化率」に変更した理由について、なぜ変更せねばならなかったのか教えてください。指標を変更してよいのなら、誰もが納得し、認知されるに相応しい（直接その事項を端的に表す）指標が他にもあります。この点については、真剣な検討が望まれる。</p> <p>それから、コロナ禍で実績がなかったとは言え、当初から町が独自に実施した「企業市民制度」は評価指標として当然挙げておくべき指標項目であったと思います。逆に、後期計画から評価指標に挙げる理由を聴きたい。（新しくできた制度？）</p>	<p>るため見直しました。また、「企業市民制度の認定事業者数」につきましては、従前から制度化している企業市民制度において、企業支援の充実を図ることで、これまで以上に企業と連携しながら地域課題に取り組み、協働のまちづくりを推進していくための指標として新たに設定しました。</p> <p>②教育委員会において、現在、子どもたちの言語能力の育成に重点的に取り組んでいます。その柱の一つとして学校図書館の活用を掲げているため、学校図書館の活用状況を把握する指標として、「学校図書館貸出冊数」を設定しました。</p> <p>③ふれあいサロンをはじめ、地域からの要望により職員が出向き介護予防の普及啓発を行うなど、より身近な場所で介護予防を実施しています。今後、住民主体の通いの場所の運営者と協力し、介護予防に取り組んでいくことが重要であると考え「介護予防に資する住民主体の「通いの場」への参加人数」を設定しました。</p> <p>④いきいき百歳体操の立ち上げ支援につきましては、活動場所が確保でき、4名以上の登録があれば可能としています。少人数のグループであっても、身近な場所で参加できる場所が増えていくことが重要であると考え、「いきいき百歳体操実施個所数」を指標として設定しました。</p> <p>⑤「基幹管路耐震化率」につきましては、配水管以外で重要な導水管や送水管を含む管路耐震化の指標として整理しました。</p>
5	基本計画	<p>KPIの専門家の方（有識者）に見ていただくことやコンサルの方に評価をお願いされましたか。</p> <p>また、同様に表中「5年後の姿」（目標値）について、行政（職員）が自分たちで恣意的に決めた達成しやすい（お手盛りの）数値を設定する等の住民からの疑惑を持たれないようにするため、第三者の視点（評価）を入れるべきと考えますが、これについてはどう対応されましたか。</p>	<p>計画の策定にあたりましては、策定当初から計画策定支援業務委託事業者の支援を受けながら、前期基本計画における事業の取組内容の現状や進捗状況、課題などを検証し、後期の5年に向けた重要業績評価指標（KPI）の目標値の設定を行っています。</p> <p>また、重要業績評価指標（KPI）を含めた計画素案につきましては、有識者などで組織するまちづくり審議会において、計画やまちづくりに関するご意見をいただきながら策定作業を進めています。</p>
6	基本計画	<p>前期同様に、後期計画においても KPI に関する説明がなく、</p>	<p>長期的で戦略的な町政運営を行うため、第6次太子町総合計画よ</p>

		<p>(P74 用語集でも理解不能) P16の「第8章計画の効果検証」の部分でサラリと表現されているだけである。既に採用した以上 KPI 指標は、この総合計画の肝(きも)であり、町がこの計画で採用する画期的で、他の自治体の計画にもない方式であるはずだ。町ご自慢の KPI の意味・意義を分かりやすく説明すべきであると思うがいかがでしょうか。(姫路のジュンク堂書店でも解説本が2冊(検索済)あるだけ。業績評価指標は極めて世間の認知度は低く、民間の利用も人事考課が中心で限定的(ビジネスのプロセスの見える化が目的)なものであることを正確に認識されているのでしょうか。)</p>	<p>り「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含しており、計画の進捗状況を定量的に把握するための重要業績評価指標(KPI)を設けていますが、同様の手法を取る自治体の数が多くなってきています。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)につきましては、「施策に関する指標」として指標の内容、現状の数値、5年後の目標数値を示すことで、計画を読まれる方に対し、視覚的に理解していただきやすいように構成しています。</p> <p>また、重要業績評価指標(KPI)の用語の解説につきましては、用語集に記載しています。</p>
7	基本計画	<p>ここ数年(新町長になって)の取り組み施策は、後期計画(案)の「基本的な方針」に取り込む等によりアップデートしなくて良いのですか。</p> <p>特に、昨年度から新町長は、少子化対策やコロナ禍・物価高等に伴う諸対策を実行しておられるが、それらはこの後期計画(案)に盛り込まないのでしょうか。</p> <p>この総合計画(10年間)は、長期の計画とは言え、半期(または3年)単位で更新していくのではないのですか(P4)。それは、実施計画の中で行うということですか。</p> <p>私は、この総合計画は他の自治体の総合計画と異なり、急激な社会の変化にリアルに対応できるよう、10年間の計画設定でありながら、きめ細かな短期の見直しにより適時適切に現状に即応できるもののように感じ、期待していたので、残念です。</p> <p>時間の経過に伴い現実と乖離する総合計画にも関わらず(長期計画が有する弱点)、言ってみれば、今回の見直しは、そうした現状に目を向けずに、語句の時点修正と職員が恣意的に決めた「数値目標」の単なる修正(置き換え)でしかないように思うのは、私だけでしょうか。違うというのなら、その根拠を示してください。</p>	<p>総合計画の基本構想につきましては、基本目標と基本政策を定めており、長期的な視点を持ってまちづくりを推進するため計画期間を10年としています。基本計画につきましては、基本構想に基づく中長期的な施策の展開方法を体系的に示すものとしており、社会情勢の変化に対応するために前期5か年と後期5か年としています。この度、後期基本計画の策定にあたりましては、10年計画の基本構想に基づき、一貫性をもって継続的に施策を進めるため、前期基本計画を基本としながら、追加したものや変更したものなどの時点修正を加え、町の現状に即した内容としています。</p> <p>なお、基本計画は施策展開方法や体系といった大きな方向性を示すものとしていますので、ご意見としていただいているような個別の取組につきましては、実施計画に基づきながら事業を進めています。</p>
8	基本計画	<p>P44「(2)保健・医療サービスの充実」と同様に「(3)保健</p>	<p>計画に記載している健康診査には特定健診が含まれます。</p>

		<p>制度の運営」において、当初から「毎年の特定検診の住民受診率の促進」という記述（観点）が欠落していると感じているが、いかがなものか。受診率を高めることが、一般論でなく、国民健康保険制度の運営改善（負担軽減）及び住民の健康長寿に直接つながるものであることは明らかであり、運営する太子町の重要な業務と考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>P44「(2) 保健・医療サービスの充実」において、「現状と課題」に「生活習慣病の予防や早期発見、治療のため、健康診査および検診の受診率向上を図ることが必要です。」、「基本的な方針」に「若い年齢からの健康診査および検診を実施し、生活習慣病を早期に発見し、早期に治療を開始できる体制の充実を図ります。」、「5年後のまちの姿」に「健康診査および検診の受診が促進され、生活習慣病などの予防や早期治療につながっています。」、P45「(3) 保険制度の運営」において、「基本的な方針」に「疾病の予防や早期発見、早期治療につなげるため各種健診事業を推進するとともに、適切に医療を受診するよう広報啓発を図ります。」と記述しているとおりに、健康診査・検診の受診率の向上を図り、健康の促進及び疾病予防・重症化予防を行うことで、健康寿命の延伸や医療費の削減をめざしていきます。</p>
9	総合戦略	<p>この総合計画の構成（編集）としては、国の「デジタル田園都市国家構想戦略」の創設により、総合戦略と称し総合計画に付帯する計画とし、また「第2次人口ビジョン」も同様に計画（後期計画（案））の最後に「第3次人口ビジョン」として付加する形式で編集するのは、仕方がないとしても、前段にあった「第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、後期計画が包含するとの説明 P3）であるが、そこにあった「年間出生数」、「観光入込客数」、「住宅の耐震化率」等の指標はどこにいったのでしょうか。少なくとも大事な指標のように感じますが、後期計画（案）の中のどの指標がこれらの指標の代替となるのでしょうか。この点関連付けの便法とはいえ、少し無理があり、思慮に欠けるのではないですか。</p>	<p>基本構想の基本目標実現や人口減少抑制を効果的・効率的に実施するため、第6次太子町総合計画から「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を内包していますが、後期基本計画（案）の策定にあたりましては前期基本計画と同様に、「第3次太子町まち・ひと・しごと創生総合戦略」にあたる「太子町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しています。</p> <p>総合戦略の策定にあたりましては、国の施策の方向性を基本としており、デジタルの力を活用しつつ、仕事をつくる、出産・子育ての希望をかなえる、魅力的な地域をつくり人の流れをつくるというような体系で構成しています。数値目標につきましては、これら分野ごとの施策の進捗状況を定量的に把握できるように設定しています。</p>
10	総合戦略	<p>「太子町デジタル田園都市国家構想総合戦略」については、まったく納得できない。内部、有識者等で議論しましたか。国及び県のひな型そのままではないのですか。言葉だけの薄っぺらさを感じます。突然の国（政府）等の要請によるものとは言っても、一般論に終始し、この場をやり過ぎそうとするのではなく、例え</p>	<p>総合戦略は総合計画に内包しているため、太子町総合計画策定委員会や太子町総合計画策定本部に加え、有識者などで組織するまちづくり審議会での議論を経ながら策定作業を進めています。</p> <p>策定方針としましては、国の施策の方針に沿うような形で、働きやすいまち、子育てしやすいまち、魅力的なまちの3つの基本目標</p>

		<p>ば市内のデジタル化について、いかに取り組むかといった町の覚悟や、町の直接の仕事ではないにしても、街のGX化促進への取り組み方針と具体策のひとつもあって、良いのではないですか。</p> <p>町のデジタル戦略のどこに、国が基本的考え方で示す「②デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する」という内容（GXの加速化等）が込められているのですか。</p> <p>付け焼刃の良い例が、「数値目標」の項目について、12項目のうち4項目が（全体の1/3が計画本文の）再掲の数値目標になっています。第3次のまち・ひと・しごと創生総合戦略を引き継いだもの（看板の掛替え）であるから仕方がないと言いながら、少し安直過ぎませんか（議論による検討不足）。</p>	<p>を設定しており、それぞれの基本目標を実現するため、当町の実情に応じた施策を示し、基本計画と一体的に推進することで総合計画の基本目標である「和のまち太子」の実現をめざしています。</p> <p>また、総合戦略の3つの基本目標を実現していくにあたり、それぞれの分野において総合的にデジタル技術を活用していくことから横断的目標を設定しています。当該計画においては、施策の方向性を示すものとしていますので、個別の取組につきましては実施計画において具体的な事業内容を掲げることとしています。</p>
11	総合戦略	<p>次に、繰り返しになりますが「太子町デジタル田園都市国家構想総合戦略」は今後の手続きとして後期計画（案）で突然出てきて、パブコメを経て、オーソライズされた（総合計画に位置付けられた）ものとして、議会の承認を得るストーリー（？）になるのでしょうか。それでは、少し性急で、乱暴すぎませんか。少なくとも、原案の段階で、「まちづくり審議会」、「総合計画策定本部」はもとより、「総合計画策定委員会」の中で幅広く当初の計画策定で実施したように議論し、承認されなければならないように思います。計画の骨子（骨格）が大幅に変更・追加されるのですから、誰からも批判を招かないよう、当初と同様の手続きを踏まれることが肝要かと思いますが、いかがでしょうか。（仮にこうした手続きを踏んだ上での措置であるとするれば、私が無知なだけで、ご容赦ください。）</p>	<p>デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定にあたりましては、計画策定支援業務委託事業者の支援を受けながら、各部署からの選任メンバーで構成する太子町総合計画策定委員会において策定に係る現状分析や素案の作成を行い、幹部職員で構成する太子町総合計画策定本部において指摘事項の修正や素案の総合調整を経て、計画の素案を調製しています。</p> <p>また、まちづくり審議会においては、計画の策定段階からまちづくりへのご意見や計画に対するご審議をいただいております。審議結果のとりまとめとして答申をいただく予定となっています。</p>
12	全般	<p>概観して、主に実績から事業評価指標（全体83項目のうち）が（1）目標値の下方修正されたもの28項目、（2）目標値の上方修正されたもの30項目、（3）前期計画に同じもの20項目、（4）異なる評価指標5項目になると（私の感覚で）思います。これをもって町の実施した事業効果がどうであるか問うつもり</p>	<p>第6次太子町総合計画の推進にあたりましては、毎年度、重要業績評価指標（KPI）や事業等の実施状況を「第6次太子町総合計画効果検証」としまして、計画・実行・評価・改善の視点で定量的に評価し、必要に応じた事業・取組の改善を行い、効果検証報告として町のホームページで公表しています。</p>

	<p>はありません、意味のないことです。しかし、住民がこれをもって、どう捉えるのかといった問題提起になることは事実でしょう。事業結果を透明化し、情報公開を促し、住民に考えるヒントや示唆を与えることが町行政を推進していく上で、重要なことではないでしょうか。</p> <p>何のための総合計画であり、事業進捗、目標設定なのでしょうか。単に、立派な総合計画を作りましたから書棚に静かに保管しておきますと言うだけで、何の活用もない総合計画では、旧態依然として、自治体の進歩はありません。</p> <p>そうした意味からまた、この総合計画後期（案）が成立した時点で、記者発表等により広く公表することを希望します。以前から太子町の広報に対する消極さには不満を持っており、良い機会なので、メインの KPI の採用経緯・実績・効果等について、少し説明に工夫を要するとは思いますが、必ず記者発表（太子町、県庁、西播磨県民局、神戸新聞社等のマスコミなど）するようにしてください。</p>	<p>また、計画策定の完了にあたりましては、今後の町のまちづくりの方針を広く周知するため、さまざまな情報媒体を活用した情報発信を検討していきたいと考えています。</p>
13	<p>全般</p> <p>最後に、この総合計画後期をコンパクトな（10～29 頁の）要約版にして（予算の範囲内で）住民に配布すること（町 HP に掲載する等）を提案します。</p> <p>今のままでは、町民の誰からも興味を示されない単に策定しただけの総合計画で終わってしまうように感じます。繰り返しますが、KPI 指標については、第三者の評価を取入れ、より客観的なものにすれば（さらに分かりやすい説明を加え）、信頼性が増し、どこに出しても、誰に対しても恥ずかしくない手法による太子町の総合計画になるものと思います。</p> <p>さらに、町事業の進捗による住民の方への確かな実感（町の目指す未来の途中経過）になることが大いに期待されます。国や県が次々に種々の観点から自治体独自の計画の創設を言ってきて、策定・整理に大変かと思いますが、言われれば、それぞれ大切な計画であり、住民や町政の活動の基本となるもののように思いま</p>	<p>今回の計画策定にあたりましては、誰もがわかりやすい計画とするため、計画書を簡略化した概要版を作成する予定です。作成しました計画書概要版は、町のホームページ等に掲載し、広く住民の方に周知したいと考えています。</p> <p>基本構想の目標である「和のまち太子」の実現に向けて、これからの5年間、いただいたご意見を参考に、住民、企業等、行政が一体となり、協働によるまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>

		<p>すので、そのことを見守っている住民もいることを承知していただき、これに懲りずにご努力ください。</p>	
14	全般	<p>日夜太子町の発展のためご尽力され感謝を申し上げます。 ご承知の通りわが地域は交通インフラに恵まれ、経済流通は西播磨でも非常に優位な立地条件が揃っています。播磨臨海地域道路も太子龍野バイパスに接続されます。 JR 西日本網干総合車両所もあり、令和7年度には都市計画道路（網干駅高架橋線）も開通となり益々繁栄すべき条件が多岐にわたります。 そこで決算を見せていただきました。基準となる財政力指数は0.77で兵庫県の市町で中ほどの位置かと推測いたします。しかし基金は存じませんが繰越金が多少ありますので基金への繰り入れはされている状態ですが、公債費が厳しい状況（貸付対照表の固定資産へ）ですね。次に気になるのが民生費と教育費で歳出の50%であります。 財政力指数は播磨町が優れています。これは人口増と企業の好条件があると思います。103万円の壁が騒がれていますが、これが消費に結びつくのかまた扶養控除の引き上げになるのか地方税の増減がどうなるかはわかりません。 さて本題ですが、わずかながらでも①観光収入を得たい⇒太子町内の参勤交代の山陽道跡形を随所に設けてほしい。②JR 車両所の法人税（無理なら通称環境税でも）を歳入にできないか？③立地条件を活かした教育施設、企業誘致はできないか？④中小企業への地元従業員の斡旋（教育費の還元策）最後に本題の⑤人口増対策で地方交付金増を図りたいですね。前述したように自主財源と依存財源の比率を1：1に近づけるには約6～8億円の歳入が欲しいところですね。少しでも近づくと提案をします。老原地域は市街化区域が2割程度であり、兵庫県転用許可基準によりますと市街化調整区域&農業振興地域の5～6割が適用範囲になります。さらに太子町マスタープラン特別指定区域制度、地区計</p>	<p>太子町はコンパクトでありながらも、まちの玄関口であるJR網干駅をはじめ、国道2号線や国道179号線の主要交通網がめぐり、姫路市や阪神地区へのアクセスが良好となっています。 良好な住環境から、兵庫県下においても若年人口割合が高いまちとなっていますが、今後は、人口減少に転じ、少子高齢化が進んでいくとされています。 国においては、よりコンパクトな生活圏をつくり、持続可能なまちづくりを進める「コンパクトシティ+ネットワーク」を提唱しており、その理念に基づき、太子町においても立地適正化計画を作成しています。 今後の土地利用政策として、市街化区域においては用途地域の変更や地区計画の策定など、市街化調整区域においては農業基盤整備による地域農業の持続や特別指定区域制度の活用など、それぞれの特性に合わせて、バランスのとれた土地利用を推進していきます。 また、太子町が移住先、観光先として選ばれるために、斑鳩寺をはじめとした歴史文化などを生かしながら、魅力あるまちづくりを展開していきたいと考えています。 さらに、企業誘致や中小企業の雇用確保支援など、地域経済が活性化することにより、財政基盤が安定したまちづくりを進めていきます。 いただいたご意見を参考に、関係各課と連携しながら、今後のまちづくりに取り組んでいきます。</p>

	<p>画等の検討の対象にされています。また、臨海道路が付きますと網干駅高架道路が瀬戸内沿岸工業地帯へのアクセスも良くなり、地域に計画されている林田川都市計画道路も町内企業への流通のアクセスもまた良くなります。老原地域は歯科、内科、ホームセンター、マックスバリューと老人が徒歩でも生活でき JR 車両所の勤務者の宅地転用にも最適な地域と考えています。ご検討をお願いします。</p>	
--	---	--